

2025年2月21日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ  
 代表者名 代表取締役会長 間下 直晃  
 (コード番号：3681 東証プライム)  
 問合せ先 取締役 CFO 経営企画本部長 山本 一輝  
 (TEL. 03-6625-5011)

**特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩し、  
並びに業績予想と実績との差異に関するお知らせ**

当社は、2024年12月期決算において、特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩しを行うとともに、2024年12月期の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩し

当社は、イベントDX事業およびサードプレイスDX事業におけるソフトウェアのうち、今後の収益性が見込まれない一部について278,808千円を減損損失として計上いたしました。

また、業務効率化を目的に導入を進めておりました社内業務システムについて、今後の機能開発や運用体制等を再評価した結果、確実な業務改善の効果が得られないと判断し、保守的に148,556千円の減損処理を行うことといたしました。

これらに加え、第2四半期に計上した165,296千円の減損損失等を含め、2024年12月期通期で減損損失を598,518千円計上いたしました。

また、過去の業績動向及び今後の事業計画等を踏まえ、将来の課税所得の見積もりを見直した結果、一部の繰延税金資産の回収可能性に不確実性が生じたため、当第4四半期において201,428千円の繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額として計上いたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 2024年12月期の連結業績予想と実績との差異

(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	調整後 EBITDA	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	11,400	1,450	300	200
実績値 (B)	10,463	1,053	△236	△320
増減額 (B-A)	△937	△397	△536	△520
増減率 (%)	△8.2	△27.4	—	—
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	11,084	1,289	△156	△275

	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益		
前回発表予想 (A)	100	4円00銭		
実績値 (B)	△1,417	△55円73銭		
増減額 (B-A)	△1,517			
増減率 (%)	—			
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	△5,623	△231円68銭		

(2) 差異の理由

売上高においては、国内のイベントDX事業は、売上全体に占める割合の高い製薬領域の底打ちが見られ、自社開催領域（顧客社内向けの「インナーイベント」及び顧客の社外に向けた「アウターイベント」）は、これまでの経験やデータの活用によるサービス力向上により受注率の上昇が見られるものの、製薬以外の各領域での未達が積み重なり、計画を下回りました。

サードプレイスDX事業については、企業向けテレキューブが堅調に推移した一方で、公共向けテレキューブは新製品の設置計画に対し遅れが生じました。

米国のイベントDX事業を担っている子会社TEN Holdingsは、経営陣をはじめとした組織体制の再構築に時間を要したことに加え、経営方針をロールアップ戦略に変更にしたことにより、既存事業の成長に向けて取り組みながらも、ロールアップ戦略の実行に向けてIPO準備に注力したこと等が影響し、計画を下回りました。

営業利益は国内のイベントDX事業の売上未達の影響のほか、TEN Holdingsにおいて売上の未達及びIPO関連の監査やオペレーションコストの計上により、営業利益は赤字となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、「1. 特別損失（減損損失）の計上及び繰延税金資産の取り崩し」に記載した減損損失等により、業績予想との間に大幅な差異が生じました。

以 上